

連日最高気温が35度前後となる猛暑が続いてきましたが、この日は明け方まで雨が降った影響で連続熱帯夜の記録は途切れ猛暑は一休みとなりました。いつものように熱中症に注意を払いつつ真夏の生きものの観察を楽しみました。

ヨシの葉が不思議な形に綴られているのを見に行きました。この葉をはしご状に綴ったのはメイガの幼虫とのものでした。トンボに詳しい少年がシオカラトンボのお腹の先を水につけて産卵させていました。オスのような体色でしたが、オス型メスというそうです。中道沿いのコナラではキセルガイが歩いていました。



メイガの幼虫によって綴られたヨシ



シオカラトンボの産卵



キセルガイ

ウシカメムシの成虫を捕らえた参加者がいました。この観察会では久しぶりの登場です。アベマキの小枝の葉の陰にはオスのコクワガタが隠れていました。畑のアキニレの枝についていたアシナガバチの巣は、蛹室のフタのレモン色が特徴で、昆虫に詳しい青年が少し珍しいヤマトアシナガバチの巣と教えてくれました。



ウシカメムシ



コクワガタの♂



ヤマトアシナガバチの巣

田んぼの中にしかけたもんどりを引き上げてみると、中はたくさんのアメリカザリガニの死骸があり、その中で4匹が生きていました。ザリガニはこの田んぼで育つ希少種トリゲモやイネを食べてしまう可能性があり、また穴を掘る習性があり田んぼの水漏れの原因にもなるということで、駆除に努めているそうです。



もんどりをあける



アメリカザリガニ



トリゲモ

田んぼ周辺の植物を観察しました。アメリカタカサブロウの地味に見える小さな花をよく観察すると精巧なつくりになっていました。そのとなりにはヒレタゴボウの黄色い花が咲いていました。すぐ近くで穂状の花をつけた植物はアカソかヤブマオと言われ調べてみると葉の形状の特徴が決め手となりヤブマオとわかりました。



アメリカタカサブロウ



ヒレタゴボウ



ヤブマオ



湿地ではミソハギの花があたり一面咲いていて、その中に**ナガコガネグモ**が網を張っていました。大きなサイズの成虫でした。先月はつぼみが膨らみ始めていた**シロバナサクラタデ**もたくさん開花していました。**ワレモコウ**の花を見た参加者が、つづさに観察すると小さな花が密集していることに気づいて感心していました。



ナガコガネグモ



シロバナサクラタデ



ワレモコウ

大学生が大きな卵嚢を抱えた**イオウイロハシリグモ**を虫網で捕らえてくれました。卵が孵化するまで持ち運んで守るそうです。ミズギボウシ、サギソウの花が咲いていましたが、どちらも数は多くありませんでした。



卵嚢を抱えたイオウイロハシリグモ



ミズギボウシ



サギソウ

帰りの雑木林では木の根元に集まった**ゴマフボクトウのフン**を見かけました。里の道を通る途中、イネ科の植物に**トビイロハゴロモ**が止まっているのを見つけた参加者がいました。とび色という赤茶色を思い浮かべますが白っぽいハゴロモでした。道沿いのキク科の植物のうち、小さな白い花がたくさん開花していたのは**キダチコンギク**でした。**ベニバナボロギク**はつぼみが頭を垂れているように見えますがこれで開花しているとのことでした。**イシミカワ**と**ママコノシリヌグイ**はよく似ていますが、葉を裏側から見るとその違いがわかりやすく、**イシミカワ**の葉は葉柄が葉の内側に入り込み、**ママコノシリヌグイ**の葉柄は葉の端に続いていました。



ゴマフボクトウのフン



トビイロハゴロモ



キダチコンギク



ベニバナボロギク



イシミカワ



ママコノシリヌグイ

平和公園での観察項目：タイワンタケクマバチ、メイガの幼虫に綴られたヨシ、アオハナムグリ、ウシカメムシ、シオカラトンボの産卵、キセルガイ、サトキマダラヒカゲ、ヒメアカネ、イセノナミマイマイ、アベマキの実、コクワガタ、ショウリョウバッタ、ヤマトアシナガバチの巣、キムネクマバチ、ミソハギ、ヒマワリ、ジュズダマ、サルトリイバラの実、もんどり、アメリカザリガニ、アメリカカサブドウ、ヒレタゴボウ、クロアナバチ、トリゲモ、ヤブマオ、モンキチョウ、ナガコガネグモ、シロバナサクラタデ、ワレモコウ、イオウイロハシリグモ、ミズギボウシ、サギソウ、ウズグモの網、キノコの仲間、ゴマフボクトウのフン、アケビ、アブラゼミの抜け殻、トビイロハゴロモ、カキノキの実、ヤブガラシの花、アキノノゲシ、ベニバナボロギク、キダチコンギク、アカメガシワ、クサギ、ヘクソカズラ、ママコノシリヌグイ、イシミカワ、カナムグラ、ミゾカクシ、マメコガネ、オオバギボウシ、オオスズメバチ、オオカマキリ、ムネアカハラビロカマキリ、コフキソウムシ、ウスバキトンボ、アジイトトンボ、クロイトトンボ、オニヤンマ、ギンヤンマ、オオシオカラトンボ、ウチワヤンマ、ツクツクボウシの声、(午後：ミンミンゼミの声)